

立体模型で見るヒートアイランド東京 -五輪に向けて涼しい場所、緩和すべき場所を調べよう-

スカイマップ(株) 三田友規、井上覚

E-mail: skm@skymap.co.jp Twitter: @tmnr0202



キーワード

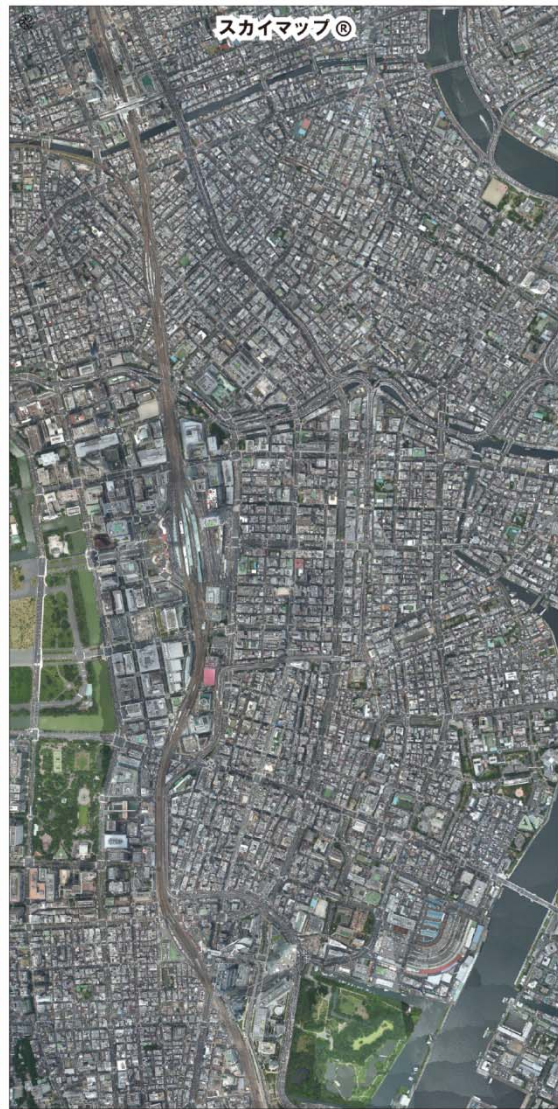
ヒートアイランド、東京五輪、サーモマップ®、立体模型、ヘリコプター



この100年で気温が約3度上昇した熱帯都市、東京（H23年国土交通白書）。そんな東京で五輪が開催される。選手が最高のパフォーマンスを出すために、ヒートアイランド問題は、緩和されるべきである。

スカイマップ（株）では、2009年以降ほぼ毎都市、都内の航空サーモセンシングを自前で実施している。昼間のみならず、夜間のセンシングも行っていることが特筆すべきことだと自負している。

今回、GISでの表示や立体模型を使用して、涼しい場所、緩和すべき場所、各種因果関係などを紹介する。



0 100m 200m 300m

公園等の緑地・緑化された屋上・並木道などは温度が低いのに比べ、交差点・道路・広い裸地は真っ赤です!! 2007年8月7日13:00撮影 スカイマップ株式会社